



MEIJI
UNIVERSITY

西東京紫紺会 春の街歩き



今回、春の街歩きは、武蔵国分寺跡周辺を散策します。

西国分寺駅から「国分寺薬師堂」「国史跡の武蔵国分寺跡」、そして「お鷹の道・真姿の池湧水群」を通過して、「都立殿ヶ谷戸庭園」を巡ります。

春のひとつとき、のんびりと歩きませんか。皆様のご参加をお待ちいたします。

日 程 3月15日(日) 小雨程度なら決行します。

コース 西国分寺駅 - 国分寺薬師堂 - 武蔵国分寺跡 - 武蔵国分寺跡資料館
- お鷹の道・真姿の池湧水群 - 都立殿ヶ谷戸庭園 - 国分寺駅(解散)

ご希望の方は、駅周辺の居酒屋で反省会をしたいと思います。

集 合 午後1時30分 JR中央線 西国分寺駅 改札前

費 用 武蔵国分寺跡資料館 100円、都立殿ヶ谷戸庭園 150円(65歳以上70円)

申込み 3月10日(火)までに久保田までご連絡ください。

スマホ 090-7723-5311 メール kurea0203@ksn.biglobe.ne.jp

概要 「国分寺薬師堂」 建武2年(1335年)に新田義貞の寄進により建立されたものが、宝暦6年(1756年)頃に現在の地に建て替えられました。

「武蔵国分寺跡」 天平13年(741年)、聖武天皇は鎮護国家を祈念して、諸国に国分寺と尼寺を建立するよう命じました。武蔵国では国府(府中市)に近い国分寺崖線の麓に建立されました。鎌倉時代末の分倍河原の合戦で焼失されたと伝えられています。

「武蔵国分寺跡資料館」 長年の武蔵国分寺跡の発掘調査の成果をもとに、史跡から出土した資料などを展示しています。

資料館に隣接する「おたカフェ」で休憩する予定です。

「お鷹の道・真姿の池湧水群」 江戸時代に尾張徳川家の御高場だったことに由来して「お鷹の道」と名付けられた散策道で、環境省選定の名水百選にも選ばれています。近年、湧水量が減少し、水の流れが細っているのが残念です。

「都立殿ヶ谷戸庭園」 三菱合資会社の社員であった江口定條により大正2年(1913年)に別荘として作られた「隋宜園」がもとになった庭園で、昭和49年(1974年)都が買収し、開園しました。